

鎌倉アルプス初詣山行報告

【山行日】2018年 1月 14(日) 晴れ

【集 合】野木町島田宅 AM 6:00

【費 用】休日お出かけパス&グリーン券
3,450円

【メンバー】 CL:鈴木、岩淵、大西、梶内、
小松原、関、竹田、福田夕、藤原、渡辺

【コースタイム】小山駅 6:31+++鎌倉駅 8:52/9:10~
鶴岡八幡宮 9:30/9:40~源頼朝墓所 9:50~荏柄神社
9:55~鎌倉宮 10:00/10:10~瑞泉寺 10:20~天園
11:10~大平山下広場 11:20/12:10~建長寺 13:10~
鎌倉駅 14:20/14:38+++小山駅 17:00



毎年恒例の鎌倉アルプス初詣ハイク、今年は瑞泉寺から天園ハイキングコースを登ることにした。若干1名、前日からフライングで出発した方がおり、鎌倉駅で無事に合流することが出来た。



今回は初めて顔を合わせるメンバーが居るので、自己紹介を行ってから出発する。総勢10名鎌倉駅から、人通りの無い小町通りをおしゃべりしながらのんびり歩き、鶴岡八幡宮を参拝する。まだ参拝者は少なくゆっくり参拝出来、全員で記念写真を撮ることが出来た。国宝館の前を通り、東口から鎌倉小学校、鎌倉中学校の横から住宅街を抜け源頼朝公の墓所をお参りする。ここからすぐ先にある荏柄天神社を参拝し、鎌倉宮に寄りトイレ休憩する。鎌倉宮は骨董市が開催されており、陶器や

装飾品などの露店が並び賑わっていた。鎌倉宮を出て左に川沿いの道を進み、瑞泉寺入口の手前を右に曲がると鎌倉アルプス登山口がある。

細い尾根道を登って行くと右側には住宅が山際まで迫っており、あらためて都市に隣接した山であることを感じさせられた。地元の方達の散歩道でもあり、ザックを持たずにスニーカーで歩く人が多く見られた。起伏に富んだ尾根道は雑木林の中を歩き、「やぐら」と呼ばれる横穴の中に仏像が祀られ見どころ満載の楽しいコースだ。しばらく歩くと「貝吹き地蔵」の立札が見えて、興味を示した4人衆が覗きに行く。鎌倉に新田義貞が攻めて来た時にこの貝吹き地蔵が、敗走する北条の家来たちを救うためにほら貝を吹いて知らせたと言う伝説を持つ。この先をしばらく登ると西側が開け、丸太のベンチがある場所に出る。鎌倉市街の向こうに、端正な富士山が聳えており、皆さんが「ウワ〜綺麗」



と喜んでいた。小休止し富士山を眺めながら、カステラやゼリーのおやつをいただく。この先にも展望の良い岩場があり、富士山を眺め写真を撮ってから大平山に向かう。天園茶屋の下を通り、広い道路を少し下るとトイレがある。トイレを済ませゴルフ場のネット沿いに進むと大平山下の広場に着く。風が当らなく陽当たりが良い場所に陣取り、シートを敷いて宴会の準備をする。キノコと卵のスープにお赤飯や煮物、ハムやブロッコリー、出汁巻き卵やおひたし、漬物等々が並び、ワインと八海



山で乾杯する。皆さんお腹が空いたらしく、ものすごい勢いで食べて行く。K 原さんは「煮物のゴボウが美味しい」とお代わりし、お酒もグイグイ進んでいた。楽しくおしゃべりをしながら、アツ言う間に時間が過ぎお開きになる。

後片付けを手際よく済ませ、トイレを済ませたら出発する。すぐに大平山への登りになり、お酒を飲んだ体にはとてもきつい登りだ。山頂と言ってもワイヤーの柵に大平山の札が下がっているだけで、およそ山頂らしくない山である。ここからもアップダウンの尾根歩きが続き、砂

岩の露出した岩場に「やぐら」がいくつか現れる。覚園寺へ下る道を左に分け、さらに岩場を登ると十王岩着く。少し進むと建長寺への分岐になり、ここに木製の展望台があったが取り除かれていた。急な石段を下ると半蔵坊に着き、ここから建長寺の境内に入り拝観料を取られる。ここからさらに石段を下って、仏殿や法堂を参拝し山門と総門をくぐると道路に出る。

ここからは道路沿いに歩道を歩き、鶴岡八幡宮の裏まで行き自由行動にする。

皆さんそれぞれにお目当ての店に寄り、お土産などを買いながら鎌倉駅に向かう。鎌倉駅に着くと、女性達は駅前のコーヒーショップで寛いでいた。約束の時間までに全員揃い、予定の湘南ラインに乗り小山駅へ向かう。グリーン車に乗り、いつものように宴会が始まる。今回はK 内さんの話で盛り上がり、乗務員の方から「静かにしてください」とイエローカードを2回も出されたが楽しかった。

それぞれ乗車した駅で下車し、恒例の鎌倉初詣ハイクが無事に終了した。

